

REGIONAL
ECONOMY



3Dプリンター導入検証

近畿経産局 実装モデル37社選定

近畿経済産業局は5日、OKKなど37社を3次元積層造形(3Dプリンター)実装のモデル企業として選定し、製造プロセスに必要な導入検証支援を始めること発表した。デザイン、設計から造形、評価までの一連の量産体制を構築できるか検証し、実用化を推進す

る。既存部品の製造を3Dプリンターで置き換えられるかなどを検証する。検証結果を2021年3月に公表する。

産学官連携のネットワーク「Kansai

3D実用化プロジェクト」で支援する。地域経済部次世代産業・

情報政策課の大塚公彦課長は「日本の製造業の企業変革力を高度化する一歩になれば」と期待。取り組みには産業技術総合研究所や大阪大学が協力する。

同日「Kansai

3D実用化プロジェクト拠点II写真」(大阪市西区、立花エレクトリック本社内)をリニューアルし、報道陣へ公開した。

西日本

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

8月6日 木曜日

2020年(令和2年)